

テーマ「感染症対策を踏まえた働き方改革」（中学校）

視点１ 行政との連携や働きかけ

- ・ 学校サポーター（県費非常勤）の活用
- ・ 消毒ボランティアのシフトや時間調整が負担になっている
- ・ 双方向の授業実現のための環境整備等（要望）
- ・ 部活動指導員の人材バンクを作してほしい（要望）
- ・ 夏休み等の作品募集を減らしてほしい（要望）
- ・ 青少年育成会等を行政主導で進めてほしい（要望）

視点２ 自校での取り組み

- ・ 日課の変更（昼休みと清掃を隔日に、朝開始 10 分繰上）
- ・ 新しいスタイルの学校行事（来賓なしは児童生徒に影響なし）
- ・ ペーパーレスとデジタル化（出欠連絡等）
- ・ いじめアンケートをオンラインで（紙に残す必要ない：スクールロイヤー）
- ・ 会議の見直し、時差出勤、テレワーク
- ・ 業者テストの活用（テスト作成の負担軽減）
- ・ ワークの代わりに AI ドリル活用
- ・ 自宅からのオンライン面談（教員評価面談）
- ・ 拡大コピーの活用（板書なし、費用が課題）
- ・ 委員会をボランティア制に（告知形式、教師の負担も懸念）
- ・ 放課後の消毒作業ボランティア
- ・ 体育祭を縮小（体育科の発展としてミニ陸上）
- ・ 部活動指導員の活用（指導員の人材確保が課題）
- ・ 部活動休養日の増加（平日 2 日休み、土日 1 日休み、下校時刻の繰上）
- ・ 例年どおりをなくす（やらなくてよいものは、やらなくてもよい）
- ・ 残業時間月 4 2 時間超は面談を行い改善を図る
- ・ 教頭、教務主任の残業時間削減

視点３ 次年度に取り組みたいテーマ

- ・ 更なる働き方改革
- ・ 令和スタイルの学校改革（やめる、なくす、変える）
- ・ 部活動改革
- ・ 校長会研究協議会のもち方（内容及び方法等）例、オンライン